

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	------	----	-----	-----

科目名	人間と歴史	担当者名	北原 かな子
授業の概要	本講義では、歴史研究とはどのような史料を対象として進めるかということに係口として、歴史とは何か、また歴史を学ぶことの意義を考える。内容は、近年編纂が進められている青森県の歴史を中心とする。青森の歴史には、アイヌ民族との関係や戊辰戦争での立ち位置など、きわめて興味深い事柄が含まれるが、政治だけではなく、文化や、あるいは女性史など従来マイノリティとして捉えられてきた事柄にも目を向ける。高校までの日本史にとらわれず、地域史の視点から日本の歴史を捉え、最終的に人間と歴史の関係を考えていきたい。		
科目の到達目標	①「青森県の近代」とは何か、その諸相を理解できる ②「歴史とは何か」について自分なりの考えを持てる ③「資料を読む」方法及びその意義を理解できる		
授業時間外学修(予習・復習)	なし		
フィードバックの方法			
単位認定の要件	毎回の授業終了後に理解度をはかる課題(forms)を提出させる。授業内容の理解を問うことがほとんどなので、出席はきわめて重要であることに留意すること。		
評価の方法・割合(%)	毎回の課題提出が70%。最終的な理解を問う試験が30%		
履修上の注意事項	地域の歴史に関心をもっていること。また日本史の受講経験がある方が望ましい。		

回数	予定	実施	テーマ・内容	方法
1	9/26		第1回(テーマ) ガイダンス 授業内容 地域の歴史を学ぶということ 予習の内容および方法 これまでに自分の地域の歴史を学んだ経験をまとめておく。 復習の内容および方法 地域史の意義を考える。	
2	10/3		第2回(テーマ) 歴史とは何か 授業内容: 歴史を学ぶということを多角的に考える。 予習の内容および方法: これまで受けてきた歴史の授業を振り返る 復習の内容および方法: 「歴史とは何か」を自分の言葉で言えるようにする。	
3	10/10		第3回(テーマ) 青森県の成立と東北 授業内容: 現在の青森県域がどのような経緯で形成されたか、それをめぐる武士階級たちの動きも含めて学ぶ。 予習の内容及び方法: 明治維新と近代について調べる。 復習の内容及び方法 青森県誕生をめぐる内容についてまとめる。	
4	10/17		第4回 東北とキリスト 授業内容: 明治初期にキリスト教が東北地方を中心に広がったことを学ぶ 予習の内容および方法 自分の出身地にキリスト教の協会がどのくらいあるか、数えてみる。 復習の内容及び方法: 東北の近代化についてまとめる。	
5	10/24		第5回(テーマ) 近代産業のはじまりー青森県とりんご 授業内容: 旧武士階級による近代産業への取り組みについて学ぶ 予習の内容および方法: 「士族階級」について調べる 復習の内容及び方法: 青森県内各地で行われた産業化の試みについてまとめる。	
6	10/31		第6回(テーマ) 「近代の教育」 授業内容: 近代教育制度が青森でどのように展開したかについて学ぶ 予習の内容及び方法: 「学制発布」について調べる 復習の内容及び方法: 明治初期の青森における教育について考える。	
7	11/7		第7回(テーマ) 女性をめぐる歴史 授業内容: 近代初期の社会における女性をめぐる様々な事象について学ぶ。 予習の内容および方法: 「身売り」について調べる 復習の内容及び方法: 近代女性にかかわる人権問題についてまとめる。	
8	11/14		第8回(テーマ) 民衆生活の変容 授業内容: 近代化に伴う生活様式の変容について、法制度が確立されてきた時期を中心として学ぶ。 予習の内容及び方法: 「神前結婚」について調べる 復習の内容及び方法: 現代の生活様式のルーツについてまとめる	

9	11/21	第9回(テーマ)民衆と祈りの世界ーいたこを中心に 授業内容;明治初期の青森県域での生活、宗教などについて学ぶ 予習の内容及び方法;「いたこ」について調べる 復習の内容及び方法;青森県における近代初期の生活の変化や文化についてまとめる。	
10	11/28	第10回(テーマ)民衆の生活と文化ー 津軽三味線授業内容;津軽三味線の音楽に触れ、歴史を学ぶ。 予習の内容及び方法;「津軽三味線」について調べる。 復習の内容及び方法;津軽三味線の歴史についてまとめる。	
11	12/5	第11回(テーマ)戦争と青森県 授業内容;戦争の足音が近づく中での青森県の人々の生活について学ぶ。 予習の内容及び方法;「ご真影」について調べる。 復習の内容及び方法;戦争が人々に及ぼした影響についてまとめる。	
12	12/12	第12回(テーマ)民衆の文化ーねぶた 授業内容;ねぶたの歴史や政策について学ぶ。 予習の内容及び方法;「ねぶた」と「ねぶた」について調べる。 復習の内容及び方法;「ねぶた」について学んだことをまとめる。	
13	12/19	第13回(テーマ)あすなる国体 授業内容;あすなる国体と青森県について学ぶ予習の内容及び方法;「国体」について調べる。 復習の内容及び方法;あすなる国体についてまとめる。	
14	1/16	第14回(テーマ)青森の森林文化授業内容;ヒバとブナについて学ぶ。 予習の内容及び方法;「ひば」と「ぶな」について調べる。 復習の内容及び方法;青森の森林文化についてまとめる。	
15	1/23	第15回(テーマ)まとめ 授業内容;この講義で学んだことを振り返る。 予習の内容及び方法;講義ノートを自分なりにまとめておく。 復習の内容及び方法;講義で学んだことを活かす方法を考える。	
期末試験			

使用テキスト	プリント配布
参考文献 参考URL	授業中に随時指示する
備考	受講を希望するものは、高校までに日本史の基礎知識を学んでいることが望ましい。また第一回目のガイダンスは必ず出席すること。

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	------	----	-----	-----

科目名	暮らしと経済	担当者名	本間 維
授業の概要	<p>皆さんが生まれた、2000年代の初め頃は、失われた20年と呼ばれる不況期の真っ只中でした。こうした中であっても、当時の日本は世界第2位の経済大国であり、一人当たりのGDPは世界的に見ても高順位にありました。これは私たちの暮らしの水準と強く関係しており、物質的に恵まれていたということに異論はないと思います。しかし、皆さんが生まれた頃から半世紀ほど遡った戦後復興期には、今では想像もつかないような暮らしが営まれていました。では、そうした暮らしがどのようなものであり、そこから私たちの暮らしがどのように変化し、現在へと至ったのでしょうか。この授業では、そうしたことについて、経済的な出来事などに注目しながら考えたいと思います。さらに、12回以降は、私たちの暮らしに身近な地域の人口問題や経済進行について、皆さんが実際に分析しながら考える体験学習にも挑戦する予定です。</p>		
科目の到達目標	<p>1.【市態度、志向】(1) 私たちの暮らしをより豊かにするために必要な社会人としての自らの役割を理解し、協力し合える姿勢を備えること。 2.【総合・統合】 授業を通じて獲得した経済学的な考え方をもとに、これからの経済動向や暮らしの変化に対する予測力を高め、地域や自分自身の問題に対して、自分なりの解決策を示し、わかりやすく伝えることができるようになること。</p>		
授業時間外学修(予習・復習)	<p>確認問題を配布するので、後回しにせず、その都度解いてみてください。 体験学習では、分析をサポートする動画も公開する予定ですので、参考にして分析を進めてください。</p>		
フィードバックの方法			
単位認定の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生便覧に掲載されている成績評価の基準に則ります。</li> <li>・基本的な考え方や知識を備えているか、それらを基に与えられた課題を定量的または定性的に分析できるか、そこから解決策を示すことができるかといった視点から評価します。</li> <li>・特に、体験学習では、問題設定の理解、現実社会の考察の妥当性、主張の説得性の視点から評価します。</li> </ul>		
評価の方法・割合(%)	<p>評価の方法、割合 以下の①②③の合計評価基準に照らして評価します。 ①期末試験の得点 5割 ②確認クイズの得点など3割 ③体験学習の成果等(レポート形式またはクイズ形式) 2割</p>		
履修上の注意事項	<p>①試験については、学生の努力が報われるような出題を心がけます。 ②不足している予備知識については授業名で補います。 ③質問などについては、オフィスアワー(日時は掲示を確認してください)はもちろん、研究室に在室している場合、基本的にはいつでも受け付けます。 ④皆さんの学習の関心を高めるために、教科書の内容が前後する場合があります。 ⑤受講者の1年生割合(1年生は個人PCを有している)が高い場合、人口試験のシミュレーションの際には、PCを持参いただくこともあり得ます。その際は、事前アナウンスします。</p>		

回数	予定	実施	テーマ・内容	方法
1	9/26		<p>テーマ:経済成長の成果(教科書第1章22ページ、特に配布資料)内容:日本の戦後復興と経済成長①;経済成長を目で見ることはできるのでしょうか。経済成長の意味と、それがどのように発展するのか考えてみましょう。 予習・復習: 〈予習30分以上〉図書館を利用して、GDPと3面等価の法則について予習しておいてください。 〈復習60分程度〉ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	

2	10/3	<p>テーマ:世界の中の日本経済 (配布資料)</p> <p>内容:日本の戦後復興と経済成長②;経済成長が私たちにもたらすものを、世界の経済の変容と供に考えてみましょう。</p> <p>予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;図書館を利用し、散布図の見方や、相関関係と因果関係の違いなどを復習しておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
3	10/10	<p>テーマ:傾斜生産方式とインフレの抑制(配布資料)</p> <p>内容:日本の戦後復興と経済成長③;戦後復興期、日本は何を優先したのでしょうか、日本は1956年に、ある製品の生産で世界一の座を獲得しました。これは敗戦からたった10年程度で成し遂げたものであり、偉業とも言えます。その成功の背景にある歴史や政策について考えてみましょう</p> <p>予習・復習:          &lt;予習30分以上&gt;図書館を利用し、インフレの意味とその種類について復習しておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
4	10/17	<p>テーマ:高度経済成長を実現させた要因 (配布資料)</p> <p>内容:日本の高度成長;高度経済成長を実現させた要因は何でしょうか?デニスン成長会計に従って考えてみましょう。</p> <p>予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;ある長方形の面積を考えましょう。ほんの少しだけ、縦の長さをX伸ばし、横の長さをY伸ばした時、面積の増加率は立ての長さの増加率と横の長さの増加率の和とおおむね一致します。マクロ経済学で学修した内容を思い出しながら、その理由を思い出しておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
5	10/24	<p>テーマ:低成長期の日本経済 (教科書第1章)</p> <p>内容:高度成長期の終わり:高度経済成長は石油危機によって鎮まり、その後の低成長時代はバブル経済の崩壊で終わりを迎えます。低成長時代の世界経済の動きと、バブル崩壊が日本に与えた影響を考えてみましょう。</p> <p>予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;図書館などを利用して、1973年ころに石油危機が生じた理由を調べておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
6	10/31	<p>テーマ:皆さんが過ごした「失われた20年」とは (教科書第1章、第6章)</p> <p>内容:「失われた20年」と経済のグローバル化①;「低成長期もバブル経済の崩壊で終わりを迎え、そこから、いわゆる「失われた20年」に突入します。こうしたことに目を向ける前に、資本主義経済、混合経済、社会主義経済という3つの経済体制の違いを理解し、資本主義の台頭について考えてみましょう。</p> <p>予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;図書館などを利用して、混合経済について調べておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
7	11/7	<p>テーマ:日本の資本主義はどんなタイプか? (教科書第6章)</p> <p>内容:「失われた20年」と経済のグローバル化②;資本主義が台頭する中で、資本主義も大きく2つのタイプに分けて議論することができます。一つがアングロサクソン型であり、もう一つがライン型資本主義です。その違いをもう少し詳しく考え、その違いがもたらす社会の仕組みの違いについて考えてみましょう。</p> <p>予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;図書館などを利用して、資本主義という用語について調べておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
8	11/14	<p>テーマ:日本の雇用、企業統治、金融の仕組みはどう変化したのか? (教科書第4章)</p> <p>内容:「失われた20年」と経済のグローバル化③:日本の民間部門の雇用、企業統治、金融の特徴について考えてみましょう。特に、日本型雇用慣行の変化、株式会社の株主構成や取締役会における役員構成の変化、間接金融のウェイトの低下などに注目します。</p> <p>予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;図書館などを利用して、「年功序列賃金制」「終身雇用制」「企業別労働組合」について、調べておいてください。これらは皆さんが社会人となった時に、直接的に関係することであり、大きく変化している部分です。念入りに予習しておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	

9	11/21	<p>テーマ:グローバル化と日本の生産部門(教科書第6章)          内容:「失われた20年」と経済のグリーン化④:グローバル化が日本の生産部門に与えた影響について考えてみましょう。そこでは特に、組み立て加工、部品生産、技術移転、産業の空洞化などに注目してみましょう。          予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;最近のニュースでも話題になった特定の国への生産財の輸出制限など、日本のモノづくりを取り巻く国際的な環境変化について、調べておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
10	11/28	<p>テーマ:アベノミクスの仕組みと狙いは何か? (教科書第1章 第4章)内容:          「失われた20年」と経済のグローバル化⑤:「失われた20年」と、いわゆるアベノミクスの関係について考えてみましょう。          予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;第2次安倍内閣発足時に掲げられた「三本の矢」とは何か?教科書56ページの前後を読んで、調べておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
11	12/5	<p>テーマ:青森県の少子高齢化と地方創生(教科書第3章)          内容:少子高齢化と地方創生について、経済学の視点から考えてみたいと思います。特に、人口に影響する諸変数を動かしながら、青森市の長期人口を推計し、高齢化や少子化がどのように影響するのかシミュレーションしてみたいと思います。こうした点を基に将来の青森県経済と県民の暮らしについて考えてみましょう。          予習・復習:          &lt;予習30分以上&gt;人口はどんな要因で変化し、その要因は人のどんな特徴の影響を受けるのでしょうか?考えておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。</p>	
12	12/12	<p>テーマ:人口推計や産業連関表による経済効果の計測方法(体験型学習の説明)          内容:次回以降、皆さんには、青森県の人口増加や経済振興に関する政策を立案し、その効果を実際に推計してもらおうと思います。そのために必要な簡単なソフトの利用方法などを説明します。また、青森市民の市政に対する要望を分析に活用できるよう、令和元年版青森市民意識調査報告書の「市政に対するご意見・ご提案」にある役530に市民の声を再集計し、その活用方法についても考えてみましょう。最終的には、分析結果を、配布予定のフォーマットに沿ってまとめ、メールにて提出してもらいます。その中から面白いものや顕著なものをピックアップし、提出した学生に発表してほしいと思います。          予習・復習          &lt;予習69分以上&gt;人口増加や経済振興のためにどんな政策が必要か考えてみてください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、配布する確認問題の該当部分を解いてください。簡単なソフトを提供するので、その利用方法を復習してください。</p>	
13	12/19	<p>テーマ:体験型学習をスムーズに進めるための説明          内容:皆さんには、既に人口変動と経済効果に関する分析ソフトの使い方を説明しており、実際に分析を進めていることと思います。今日は、分析結果の解釈がうまくいけるよう、ソフトの中身を簡潔に説明します。          予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;分析ソフトを使って、効果的な政策を見つけられるよう頑張ってください。          &lt;復習60分程度&gt;ノートを整理し、分析を進めてください。</p>	
14	1/6	<p>テーマ:体験型学習の中で寄せられた質問及び発表の方法について内容:第12回、13回と続いている体験型学習の成果の提出方法と発表のための準備の手順について詳しく説明します。          予習・復習:          &lt;予習60分以上&gt;発表に向けた準備を進めてください。          &lt;復習60分以上&gt;ノートを整理し、分析を進めてください。</p>	
15	1/13	<p>テーマ:体験型学習の成果発表会          内容:体験型学習を通じて得られた成果の中から、いくつかをピックアップし、発表してもらいたいと思います。報告を聞く学生には、室もにやアドバイスをする時間を設けますので、積極的な参加をお願いします。          予習・復習          &lt;予習60分以上&gt;発表資料を事前に読み込み、スムーズに発表できるようにしておいてください。          &lt;復習60分程度&gt;発表された分析結果のどんな部分が良かったのか、まとめておいてください。</p>	
期末試験			
使用テキスト		藤井彰夫(2018)「日本経済入門」日経文庫、日本経済新聞社。 (AIや第4次産業革命など、新しいトピックも充実している)	

参考文献 参考URL	塚崎公義(2015)「よくわかる日本経済入門」朝日新書、朝日新聞出版・ (お手ごろな価格で、戦後日本経済をコンパクトに解説している、) 浅子和美、篠原聡一 編(2011)「入門・日本経済」有斐閣。 (幅広い経済分野をカバーしている)
備考	

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	自然と化学				担当者名	棟方 秀和			
授業の概要	化学を「物質を別の物や状態に変容させる」ということにすれば、粘土を焼いて土器にすることや水を沸かして蒸気を得ることも化学といえます。そして化学は現在までに、医薬品や繊維製品をはじめとするさまざまな化学製品や化学技術を生み出してきました。化学は現代社会の一部であり、社会の発展に大きく貢献していることに間違いありません。								
科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. SDGs目標と化学のつながりを説明できる。</li> <li>2. 大気と水の資源化や循環に対する化学の取り組みを説明できる</li> <li>3. 地球温暖化を抑制するための取り組みを説明できる</li> <li>4. 太陽光エネルギーによる環境浄化や人工光合成への取り組みを説明できる。</li> <li>5. 微生物の働きを利用した環境保全や資源産生への取り組みを説明できる</li> <li>6. 循環型の未来社会を構築するために、行政が果たすべき役割と課題を説明できる。</li> <li>7. 科学技術が社会実装された未来社会を創造できる。</li> </ol>								
授業時間外学修 (予習・復習)	ありません								
フィードバックの方法									
単位認定の要件	<p>レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で取り上げた「大気と水-資源化-巡回」、「二酸化炭素と地球温暖化-排出制限-貯蔵-変換」、「光触媒-環境浄化-人工光合成」、「微生物の利用-分解-環境保全-資源産生」、「SDGsを実現する社会行政」の5つのテーマから2つ選び、2つのレポートを作成してもらいます。</li> <li>・一つのレポートを24点満点で採点します。</li> <li>・構成は、「序論」、「本論」、「結論」、「参考文献」とします。</li> <li>・文字数に制限を設けませんが、3,000～4,000文字程度を想定しています。</li> <li>・図や表などを用いてわかりやすいレポートを作成してください。</li> <li>・序論4点、本論8点、結論4点、参考文献4点、全体のレイアウト・表記4点とします。</li> <li>・レポートの評価はルーブリックを用いて行います。</li> <li>・ルーブリックは授業の時に提示します。</li> <li>・二つのレポートの合計点をレポートの特典とします。</li> <li>・提出期限は1月末日を予定しています。</li> <li>・到達目標の1～7の達成状況进行评估します。</li> </ul> <p>授業課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全授業回(1～15回)で提出してもらいます。</li> <li>・600～1000文字程度の文章で作成してもらいます。</li> <li>・4点満点で採点します。</li> <li>・作成のポイント[評価の観点]は授業の時に説明します。</li> <li>・極めてよく書かれている授業課題にはボーナス点を加算することがあります。</li> <li>・原則として授業日の2日後を提出期限とします。</li> <li>・授業を欠席した場合でも、テキストや配付資料等を参考にて作成し、提出するようにしてください。</li> <li>・期限までに提出できない(あるいは、できなかった)場合は、速やかに申し出てください。</li> <li>・未提出は0点として扱います。</li> <li>・到達目標の1～7の達成状況进行评估します。</li> </ul>								
評価の方法・割合 (%)	レポート(48%)、授業課題(52%)								
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業には大学のアカウントでMicrosoft 365にサインインしたモバイル端末(ノートPCを推奨します)を持参してください。</li> <li>●出席はモバイル端末でQRコードをスマホなどで読み取り、設問への回答の送信により確認します。(遠隔での受講が認められている学生には、出席確認の方法を別途連絡します)</li> <li>●授業時間中にMicrosoft 365(Forms)を活用したクイズ(小テスト)を実施し、授業内容の理解度を随時確認します。(成績には影響しません)</li> <li>●MS Teamsのグループで授業の連絡などを行いますので、日頃からTeamsに投稿などがいないか確認するようにしてください。</li> <li>●授業課題・レポートの提出・返却・フィードバックも、MS Teamsで行います。</li> <li>●配付資料もMS Teamsにアップロードします。(印刷して配付しませんので、必要に応じ各自印刷してください)</li> <li>●授業に関する質問等もMS Teamsで受け付けます。(夜間や休日などはすぐに返答できないこともありますので、ご了承ください)</li> <li>●対面での質問や助言などへの対応は、オフィスアワー(月曜日16:10～18:30)に実施しますので、研究室に入室してください。</li> <li>●オフィスアワー以外に対面での対応を希望する場合は、事前に日時を調整したうえで研究室に入室してください。</li> <li>●授業はTeamsでライブ配信し、レコーディングします。</li> <li>●事情により対面で受講できない場合は、オンライン受講またはオンデマンド受講を活用してください。</li> <li>●オンライン受講やオンデマンド受講は、欠席と扱いますので注意してください。(ただし、合理的配慮などでオンライン受講やオンデマンド受講が認められている学生は出席となります)</li> </ul>								

回数	予定	実施	テーマ・内容	方法
1	9/21		<p>[テーマ] オリエンテーション／化学とSDGs</p> <p>[授業内容] 0 オリエンテーション 1 化学と社会 2 グリーンケミストリーとサステナブルケミストリー 3 持続可能な開発目標 SDGs 4 エネルギー・環境イノベーション戦略(NESTI2050) 5 化学で達成するSDGs 6 元素の循環</p> <p>[予習] テキストの「第1章 化学とSDGs」(p1～12)を詠んでくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する[30分] 授業課題(1)を作成し、提出する(60分)</p>	
2	9/28		<p>[テーマ] 大気と水—資源化・循環(その1)</p> <p>[授業内容] 1 地球の大気と水 2 窒素と水の資源化;NとHの元素循環 3 大気成分の7.8%をしめる窒素によるアンモニア製造と元素循環 4 一世紀前から現在まで工業的なアンモニア合成を担ってるハーバーボッシュ法</p> <p>[予習] テキストの「第2章 大気と水—資源化・循環」の2.1～2.4(p13～23)を読んでくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する[30分] 授業課題(2)を作成し、提出する(60分)</p>	
3	10/5		<p>[テーマ] 大気と水—資源化・循環(その2)</p> <p>[授業内容] 5 低エネルギー型アンモニア合成反応;研究開発の広がり</p> <p>[予習] テキストの「第2章 大気と水—資源化・循環」の2.5(p23～37)を読んでくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する[30分] 授業課題(3)を作成し、提出する(60分)</p>	
4	#####		<p>[テーマ] 大気と水—資源化・循環(その3)</p> <p>[授業内容] 6. 酸素と水の資源化:OとHの元素循環 7. 大気と水の資源化によるNとOとHの元素循環</p> <p>[予習] テキストの「第2章 大気と水—資源化・循環」の2.6～2.7(p37～50)を読んでくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する(30分) 授業課題(4)を作成し、提出する(60分) レポートのテーマとして「大気と水—資源化・循環」を選んだ場合は、レポートを作成し、期限までに提出する(180分)</p>	
5	#####		<p>[テーマ] 二酸化炭素と地球温暖化—排出制限・貯蔵・変換(その1)</p> <p>[授業内容] 1. 人類の活動と気候変動 2. 温室効果ガスと地球温暖化</p> <p>[予習] テキストの「第3章 二酸化炭素と地球温暖化—排出制限・貯蔵・変換」の3.1～3.2(p51～59)を読んでくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する(30分) 授業課題(5)を作成し、提出する(60分)</p>	



6	####	<p>[テーマ] 二酸化炭素と地球温暖化-排出制限・貯蔵・変換(その2)</p> <p>[授業内容] 3. 二酸化炭素の排出量削減技術 4. カーボンニュートラルとカーボンリサイクル</p> <p>[予習] テキストの「第3章 二酸化炭素と地球温暖化-排出制限・貯蔵・変換」の3. 3～3. 4(p59～64)を読んでもくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する(30分) 授業課題(6)を作成し、提出する(60分)</p>	
7	11/2	<p>[テーマ] 二酸化炭素と地球温暖化-排出制限・貯蔵・変換(その3)</p> <p>[授業内容] 5. 二酸化炭素を資源化する循環可能化学の最先端研究 6. 二酸化炭素を資源化する循環か脳科学の役割</p> <p>[予習] テキストの「第3章 二酸化炭素と地球温暖化-排出制限・貯蔵・変換」の3. 5～3. 6(p64～75)を読んでもくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する(30分) 授業課題(7)を作成し、提出する(60分) レポートのテーマとして「二酸化炭素と地球温暖化-排出制限・貯蔵・変換」を選んだ場合は、レポートを作成し、期限までに提出する。(180分)</p>	
8	11/9	<p>[テーマ] 光触媒-環境浄化・人工光合成(その1)</p> <p>[授業内容] 1. エネルギーとしての太陽光の利用 2. 光エネルギーと化学反応:身の回りの光化学反応 3. 光触媒のしくみ:光と半導体を用いた触媒反応</p> <p>[予習] テキストの「第4章 光触媒-環境浄化・人工光合成」の4. 1から4. 3(P 77～91)を読んでもくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する(30分) 授業課題(8)を作成し、提出する(60分)</p>	
9	####	<p>[テーマ] 光触媒-環境浄化・人工光合成(その2)</p> <p>[授業内容] 4. 光触媒による環境浄化:光で快適な環境をつくる 5. 光触媒による資源循環:太陽光と大気と水から燃料をつくりだす</p> <p>[予習] テキストの「第4章 光触媒-環境浄化・人工光合成」の4. 4～4. 4(P92～107)を読んでもくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する(30分) 授業課題(9)を作成し、提出する(60分) レポートのテーマとして、「光触媒-環境浄化・人工光合成」を選んだ場合は、レポートを作成し、期限までに提出する(60分)</p>	
10	####	<p>[テーマ] 微生物の利用-分解・環境保全・資源産生(その1)</p> <p>[授業内容] 1. 地球上の微生物と生態系とのかわり 2. 元素循環における微生物の役割 3. 環境に負荷を与えるさまざまな化学物質</p> <p>[予習] テキストの「第5章 微生物の利用-分解・環境保全・資源産生」の5. 1～5. 3(P109～121)を読んでもくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する(30分) 授業課題(10)を作成し、提出する(60分)</p>	
11	12/7	<p>[テーマ] 微生物の利用-分解・環境保全・資源産生(その2)</p> <p>[授業内容] 4. ゲテモノ食い微生物:分解菌、分解反応などの機構</p> <p>[予習] テキストの「第5章 微生物の利用-分解・環境保全・資源産生」の5. 4(p121～131)を読んでもくる(20分)</p> <p>[復習] 授業内容を整理する[30分] 授業課題(11)を作成し、提出する(60分)</p>	

12	####	<p>[テーマ] 微生物の利用-分解・環境保全・資源産生(その3) [授業内容] 5. 資源生成、環境保全に役立つ微生物:Waste toValue and Clean 6. 微生物機能の向上を目指した先端研究</p> <p>[予習] テキストの「第5章 微生物の利用-分解・環境保全・資源産生」の5. 5～5. 6(p132～150)を読んてくる(20分) [復習] 授業内容を整理する[30分] 授業課題(12)を作成し、提出する(60分) レポートのテーマとして、「微生物の利用-分解・環境保全・資源産生」を選んだ場合は、レポートを作成し、期限までに提出する。(180分)</p>	
13	####	<p>[テーマ] SDGsをを実現する社会行政(その1) [授業内容] 1. 脱炭素社会と循環型社会・SDGsの黎明:世界の動向 2. 循環型社会・SDGsと行政;環境先端都市・北九州市の行政 [予習]</p> <p>テキストの「第6章 SDGsを実現する社会行政」の6. 1～6. 2(p151～164)を読んてくる(20分) [復習] 授業内容を整理する[30分] 授業課題(13)を作成し、提出する(60分)</p>	
14	1/18	<p>[テーマ] SDGsをを実現する社会行政(その2) [授業内容] 3. 循環型社会構築の技術育成:SDGsと資源循環 4. 循環型社会の社会基盤形成 5. SDGs達成に向けた北九州市の貢献 6. 元素循環のSDGs目標達成への北九州市の貢献 [予習]</p> <p>テキストの「第6章 SDGsを実現する社会行政」の6. 3～6. 6(p164～181)を読んてくる(20分) [復習] 授業内容を整理する[30分] 授業課題(14)を作成し、提出する(60分) レポートのテーマとして「SDGsを実現する社会行政」を選んだ場合は、レポートを作成し、期限までに提出する(180分)</p>	
15	1/25	<p>[テーマ] 化学が拓くSDGsの展望 [授業内容] 1. 「晴耕雨読」の考え方 2. 「塵も積もれば山となる」の考え方 3. 社会の需要とESG 4. この授業で述べたこと 5. 化学が拓くSDGs 6. POSTIVEとPASSIVE 7. おわりに [予習]</p> <p>テキストの「第7章 化学が拓くSDGsの展望」(p183～189)を読んてくる(20分) [復習] 授業内容を制入りする(30分) 授業課題(15)を作成し、提出する(60分)</p>	
期末試験			
使用テキスト	春山 哲也 編著『SDGsと化学 元素循環からのアプローチ』丸善出版(2022)		
参考文献 参考URL	テキストの巻末の「引用・参考文献」リストを参照してください。X授業の中でも紹介します。		
備考			

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	------	----	-----	-----

科目名	人間と倫理	担当者名	鈴木 克成
授業の概要	<p>もしもわたしたち人間が、豚が「考えていること」を「理解」できるような手段を手に入れた結果、実は「わたしを食べないで欲しいの」と語りかけられていたとわかったとしたら、今後は豚とどうつきあっていけばいいのでしょうか？</p> <p>「倫理学」は、「行為」の「正しさ／良さ」について考える哲学の一分野で、政治・社会思想(史)、社会・政治・法哲学(法理学・憲法)などの学問領域と隣接ないし重なりあっています。</p> <p>本「倫理学」講義は概ね2回毎にテーマを変更しながらすすめていきますが、各テーマとも</p> <p>①テーマ:倫理的な問い、コンフリクトと向き合いながら                  ②学習:現代社会の重要な問題を考えるための基礎体力を身につけるつまり「基礎的知識＝教養」を学習し                  ③批判的思考:あわせてより広く深く強く考えるための「批判的思考力」を身につける練習をする</p> <p>という3つのことを同時に行う点に最大の特徴があります。</p> <p>たとえば冒頭の豚のケースでは、②そもそも人間の権利＝人権とは何で、なぜそれが尊重されるべきだと考えられるようになったのか、またどのようにして人権尊重の考え方が広まり、概念適用範囲が拡大してきたのかなどを学習しつつ、同時に③権利について考える際によくある躓きについて踏まえながら、①豚の権利について考察するということを行っていきます。</p>		
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題に関する基礎的知識に加え、思考が陥りやすい罠・誤りやすい点についても修得する</li> <li>・「正しさ／良さ」についての思考の型を理解することができる</li> <li>・現代社会についての代表的な倫理的な問題について真摯に考察し、自分の考えを根拠とともに表現することが出来るようになる</li> </ul>		
授業時間外学修(予習・復習)	現時点では予定していない。(但し、シンポジウム等に振り返る可能性はあり)。		
フィードバックの方法			
単位認定の要件	倫理的な問題を考えるための基礎的知識をしっかりと身につけているかが前提条件です。従って、この点では同じ教養科目の「人間と哲学」よりも要求基準は高いかもしれません。その上で、論拠を示しての考察を行えるか、どれだけ自分ツツコミを入れながら深く広く強く考えることができるかをチェックします。		
評価の方法・割合(%)	<p>小レポート80%</p> <p>前半部分で講義内容をしっかりと「理解」しているのか、後半部分で～前半の理解を踏まえた上で～根拠をあげて問題について「考察」しているか、この2つの面から評価します。</p> <p>受講態度等20%</p> <p>グループディスカッションや講義中に提出してもらったレスポンスペーパーなどを考慮します。</p> <p>テーマについてのグループディスカッションを通じて、学生相互に意見交換しあう対話的思考に取り組んでもらうとともに、グループディスカッション結果のプレゼンテーションやレスポンスペーパーに対し随時、講評を行うなど、教員・学生間の双方向コミュニケーションによっても理解と思考を深めることを目指します。</p>		
履修上の注意事項	Cool Head, but Warm Heart.		

回数	予定	実施	テーマ・内容	方法
1	9/21		<p>■第1回:導入</p> <p>○倫理学とはいかなる学問なのか？</p> <p>○「批判」的思考とは何か？</p> <p>各回の予習:①テーマについて(できれば関心を持って)下調べし、自分はどんな考えをもっているのか、予め漠然とでも考えておくことが望ましい。</p> <p>各回の復習:②について記憶に定着させると共に、③の問題性を確認しておく(30分)</p>	
2	9/28		<p>■第2・3回:市場原理、格差の拡大と継承</p> <p>①テーマ:「親ガチャ」をどう考える？</p> <p>②学習:経済資本・社会資本・文化資本(ブルデュー)新自由主義の思想</p> <p>③批判的思考:無知のヴェール(ロールズ)、障害の社会モデルと個人モデル</p>	
3	10/5		<p>■第2・3回:市場原理、格差の拡大と継承</p> <p>①テーマ:「親ガチャ」をどう考える？</p> <p>②学習:経済資本・社会資本・文化資本(ブルデュー)新自由主義の思想</p> <p>③批判的思考:無知のヴェール(ロールズ)、障害の社会モデルと個人モデル</p>	
4	10/12		<p>■第4・5回:環境倫理</p> <p>①テーマ:このままでいいの？温暖化？</p> <p>②学習:気候変動の現状</p> <p>③批判的思考:学問／科学とは何か。、認知バイアス、陰謀論</p>	

5	10/19	<p>■第4・5回:環境倫理</p> <p>①テーマ:このままでいいの?温暖化?</p> <p>②学習:気候変動の現状</p> <p>③批判的思考:学問/科学とは何か。、認知バイアス、陰謀論</p>	
6	10/26	<p>■第6・7回:様々な「差」について考える、多様性・マイノリティ</p> <p>①テーマ:「生きるに値する生/値しない生」って分けられるの?性差・LGBTQ・「人種・民族」概念、「健常」と「障害」</p> <p>②学習:社会進化論や優生学的思考、性別役割分業的思考の本質とは</p> <p>③批判的思考:自然・伝統に訴える論証、性差、人種概念</p>	
7	11/2	<p>■第6・7回:様々な「差」について考える、多様性・マイノリティ</p> <p>①テーマ:「生きるに値する生/値しない生」って分けられるの?性差・LGBTQ・「人種・民族」概念、「健常」と「障害」</p> <p>②学習:社会進化論や優生学的思考、性別役割分業的思考の本質とは</p> <p>③批判的思考:自然・伝統に訴える論証、性差、人種概念</p>	
8	11/9	<p>■第8・9回:動物倫理、動物の権利と人間の権利</p> <p>①テーマ:動物に権利って有るのかな?</p> <p>②学習:人権概念拡張の歴史(カント、ヌスバウム)</p> <p>③批判的思考:「人権」に関するよくある思考</p>	
9	11/16	<p>■第8・9回:動物倫理、動物の権利と人間の権利</p> <p>①テーマ:動物に権利って有るのかな?</p> <p>②学習:人権概念拡張の歴史(カント、ヌスバウム)</p> <p>③批判的思考:「人権」に関するよくある思考</p>	
10	11/30	<p>■第10・11回:相対主義</p> <p>①テーマ:異なる文化・宗教・伝統間の対立・摩擦をどうする?</p> <p>②学習:表現の自由と宗教的尊厳</p> <p>③批判的思考:多文化主義と文化相対主義</p>	
11	12/7	<p>■第10・11回:相対主義</p> <p>①テーマ:異なる文化・宗教・伝統間の対立・摩擦をどうする?</p> <p>②学習:表現の自由と宗教的尊厳</p> <p>③批判的思考:多文化主義と文化相対主義</p>	
12	12/14	<p>■第12・13回:民主主義と権威主義</p> <p>①テーマ:民主主義ってオワコンなの?みんなの意思決定をどうする?</p> <p>②学習:民主主義の本質</p>	
13	12/21	<p>■第12・13回:民主主義と権威主義</p> <p>①テーマ:民主主義ってオワコンなの?みんなの意思決定をどうする?</p> <p>②学習:民主主義の本質</p>	
14	1/18	<p>■第14・15回:ナショナリズム、戦争</p> <p>①テーマ:愛国心とどう向き合う?身捨つる程の祖国はありや?</p> <p>②学習:近代国民国家の形成</p> <p>③批判的思考:歴史修正主義</p>	
15	1/25	<p>■第14・15回:ナショナリズム、戦争</p> <p>①テーマ:愛国心とどう向き合う?身捨つる程の祖国はありや?</p> <p>②学習:近代国民国家の形成</p> <p>③批判的思考:歴史修正主義</p>	
期末試験			

使用テキスト	毎回講義レジュメを配布予定
参考文献 参考URL	毎回講義レジュメ中で示唆する
備考	1年次から履修可能な「人間と哲学」講義よりは幾分難度が高いかも知れません。ほんとうは公務員を志望するような学生にこそ、社会的な公正さとは何か、社会にとって望ましい意思決定とは何かと向き合うこの科目を履修して欲しいと切に願うばかりです(公務員試験の得点に役立つかどうかには関心がない学生が公務員になるのだとしたら、軽い絶望感を覚えます)。

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	------	----	-----	-----

科目名	人間と教育	担当者名	高橋 興
授業の概要	<p>我が国は教育制度が確立された国であり、受講者のすべてが既に12年間の教育を受けている。そのため、誰もが教育についてはそれなりの考え方を持っていると思われる。</p> <p>この授業では、まず教育が人間にとって持つ意義を再確認する。そのうえで、教育を取り巻く今日の状況について様々な側面から学ぶ。例えば、近年の我が国は急激な人口減少と少子化が大きな課題となっているが、それは当然のことながら学校教育のあり方にも大きな影響を与えているし、学ぶ内容や方法等以前の根本的な問題ともなっており、その影響は学ぶ児童生徒にも及んでいることを確認する。</p> <p>また、学びの拠点である学校の存続は、地域社会のあり方にも大きく影響すること、それゆえ存続を目指す懸命な取り組みをしている地域も多くあることを具体的な事例によりながら学ぶ。</p> <p>さらに、この授業では、こうした取り組みの全国的な状況に精通した専門家や取り組みの当事者を学外から招いて話を聞く「教育フォーラム」、教育を含む地域づくりの最高責任者である市町村長を県内外から招き考え方を聞く「市町村長リレートーク」の開催などを組み合わせ、とすれば抽象的・理念的になりがちな人間と教育の関係を具体的に考える機会づくりを重視する。そのために、授業の後半ではグループ学習も実施する。</p>		
科目の到達目標	<p>1.我が国における学びの拠点である学校がおかれた厳しい現状と、それが子どもたちの教育、さらには人間としての成長に大きく影響する可能性があることについて説明できる。</p> <p>2.身近な市町村における教育への取り組みについて、具体例を挙げるなどして説明できる。</p> <p>3.生きていくために学び続けることの大切さを理解し、それを実践しようと計画を立てるなどの姿勢を示すことができる。</p>		
授業時間外学修(予習・復習)			
フィードバックの方法			
単位認定の要件			
評価の方法・割合(%)	レポート等の提出分(30%) 考査(40%)を基礎として、総合的に評価する。		
履修上の注意事項	第7回教育フォーラムの開催に伴い全員参加を求めている10月9日は土曜日です。今から日程調整をきちんと行い、欠席2回分とならないようにして下さい。		

回数	予定	実施	テーマ・内容	方法
1	9/27		<p>【テーマ】ガイダンス及び我が国における小中・高校制度の基本について</p> <p>【授業の内容】全15回の授業の概要について説明する。我が国における小中・高校教育制度の基本的な事項について学ぶ。</p> <p>【予習の内容及び方法】特になし</p> <p>【復習の内容及び方法】</p>	
2	10/4		<p>【テーマ】我が国における高校教育制度の基本について①</p> <p>【授業の内容】我が国の高校教育の状況、特に小規模校をめぐる現状と課題について、基本的なことを学ぶ(次回の教育フォーラムを聴講するための事前学習)</p> <p>【予習の内容及び方法】前時に配布した本時向けのレジюмеなどにより、学習内容を確認しておく。(30分)</p> <p>【復習の内容及び方法】使用しレジюме等を参考にしながら、我が国の高校教育がおかれた厳しい現状について再確認する(30分)</p>	
3	10/11		<p>10月9日(土)に開催する第7回地域教育フォーラムへの全員参加を求める事に伴う振り替え休講とする。</p> <p>なお、教育フォーラムは講義2回分相当とする。(したがって、フォーラムへの不参加は2回分の欠席扱いとなることに注意。)</p>	

4	10/18	<p>【テーマ】第7回教育フォーラムへ参加(12時50分～16時40分まで)</p> <p>【授業の内容】 このフォーラムは、過去6年間高橋が企画立案し、主に北東北の3県(秋田・岩手・青森)の教育関係者に呼びかけ、本学を会場として開催する者である。</p> <p>【主な内容】 ①基調講演 ②シンポジウム</p> <p>【予習の内容や方法】 前時の終了時に配布するフォーラム開催資料をしっかりと読み込んでおくこと。(30分)</p> <p>【復習の内容や方法】 フォーラムで配布された資料等を参考にしながら、講演内容やシンポジウムの内容を再確認すること。(30分)</p> <p>【※フォーラムを講義2回分とカウントすることに注意。】</p>	
5	10/25	<p>【テーマ】前時のフォーラムの振り返り「高校魅力化の意義と可能性を考える」</p> <p>【授業の内容】 前時のフォーラムの基調講演及びパネルディスカッションに共通したテーマである、少子化に伴う高校存続の危機を乗り越える方策として、全国的に取り組みが広がっている「高校魅力化」の意義とその可能性・課題について改めて確認する。</p> <p>【予習の内容や方法】 フォーラムで配布された資料等を読み込むこと。【30分】</p> <p>【復習の内容及び方法】 フォーラムの基調講演及びパネルディスカッションで議論された内容について、自分の意見などを見にレポートにまとめ次時に提出することを課題とする。(30分)</p>	
6	11/1	<p>【テーマ】市町村長が考える「地域社会と教育」 (次時から3回連続で行われる「市町村長リレートーク」を聴講するための準備)</p> <p>【授業の内容】 全受講者が⑥グループに分かれ、青森・岩手・山形3県の市町村長に対する知る質問項目や内容についてディスカッションしたうえ整理し、代表質問者を決める。グループ数は受講者数により調整する。</p> <p>【予習の内容や方法】 図書館の利用やインターネットの活用により、3市町の概要(歴史、人口、産業、学校の状況、その他特色など)や町長・市長のプロフィールなどを調べておこう。(30分)</p> <p>【復習の内容及び方法】 グループでのディスカッションの内容を再確認。(30分)</p>	
7	11/8	<p>【テーマ】市町村長リレートーク「人づくりと地域社会」①を聴講</p> <p>【授業の内容】首長による「人づくりと地域社会」という統一テーマによる講演を聴講し質疑</p> <p>【予習の内容や方法】 本学図書館やインターネットなどを利用し、市町村の状況や課題について調べてみよう。また、同町長のプロフィールなども調べてみよう。特に代表質問者に専任されている人は責任感を持ち、想定質問内容の原稿を書いてみるなど十分な準備をすること。(30分)</p> <p>【復習の内容及び方法】 市町村長の話の概要やそれに対する自分の感想・意見などをまとめた簡単なレポートを授業終了時に提出することを求める。(30分)</p>	
8	11/15	<p>【テーマ】市町村長リレートーク「人づくりと地域社会」②を聴講</p> <p>【授業の内容】首長による「人づくりと地域社会」という統一テーマによる講演を聴講し質疑</p> <p>【予習の内容や方法】 本学図書館やインターネットなどを利用し、市町村の状況や課題について調べてみよう。また、同町長のプロフィールなども調べてみよう。特に代表質問者に専任されている人は責任感を持ち、想定質問内容の原稿を書いてみるなど十分な準備をすること。(30分)</p> <p>【復習の内容及び方法】 市町村長の話の概要やそれに対する自分の感想意見などをまとめた簡単なレポートを授業終了時に提出することを求める。(30分)</p>	
9	11/22	<p>【テーマ】市町村長リレートーク「人づくりと地域社会」③を聴講</p> <p>【授業の内容】首長による「人づくりと地域社会」という統一テーマによる講演を聴講し質疑</p> <p>【予習の内容や方法】 本学図書館やインターネットなどを利用し、市町村の状況や課題について調べてみよう。また、同町長のプロフィールなども調べてみよう。特に代表質問者に専任されている人は責任感を持ち、想定質問内容の原稿を書いてみるなど十分な準備をすること。(30分)</p> <p>【復習の内容及び方法】 市町村長の話の概要やそれに対する自分の感想・意見などをまとめた簡単なレポートを授業終了時に提出することを求める。(30分)</p>	

10	11/29	<p>【テーマ】少子化に伴う学校教育の課題について考える一小・中学校を中心として</p> <p>【授業の内容】 文科省による学校基本調査等の結果をもとに、少子化に伴う学校小規模化が進行する実態を確認する。そのうえで、学校小規模化により生ずる教育上のメリット・デメリット、小規模校対策として行われる学校統廃合が地域社会に与える大きな影響について学ぶ。</p> <p>【予習の内容や方法】 図書館の利用やインターネット活用により、少子化の実態とそれが地域社会に与える影響について調べてみよう。(30分)</p> <p>【復習の内容や方法】 授業時に配布した資料等によりながら、急激に進んでいる少子化が学校教育に与えている大きな影響について再確認する。(30分)</p>	
11	12/6	<p>【テーマ】少子化が進行する地域における教育環境整備の在り方一小・中を学校中心に一</p> <p>【授業の内容】 教科書及び配布する資料等により近年における是国及び青森県における児童生徒数の減少と学校の小規模化の状況を確認し、そのことによる教育的な課題とその解決策等について学ぶ。</p> <p>【予習の内容や方法】 本学の図書館等を利用し、児童生徒数の急激な減少の状況を確認すると共に市町村がどのような対処策をとっているか調べてみよう。(39分)</p> <p>【復習の内容や方法】 授業時に配布した資料等をもとに、地域における子どもたちの教育環境が大きく変わりつつあることを再確認しよう。(30分)</p>	
12	12/13	<p>【テーマ】児童生徒数の減少が進む地域における教育環境整備の在り方① 少子化に伴う学校小規模化への対応策の1つである「学校統廃合」のプラス・マイナス及びその具体的な実施事例について学ぶ。</p> <p>【授業の内容】 教科書によりながら、まず国による小中学校の適正規模・適正配置に対する考え方及びその変遷について学ぶ。ついで、「統廃合」のプラス・マイナスについて整理するとともに、佐賀県多久市・栃木 県小山市の事例について学ぶ。</p> <p>【予習の内容及び方法】 教科書及び図書館の資料を利用したり、インターネットの活用によって、学校の適正規模・適正配置の意義等について調べる。(30分)</p> <p>【復習の内容や方法】 教科書及び配布された資料等を改めて見直し、今日における児童生徒数の現状と、そうした状況がもたらす課題等について整理する。(30分)</p>	
13	12/20	<p>【テーマ】児童生徒数の減少が進む地域における教育環境整備の在り方① 少子化に伴う学校小規模化への対応策の1つである「学校統廃合」を選択せず他の方法によって解決を目指す事例について学ぶーその1ー</p> <p>【授業の内容】 教科書によりながら、統廃合が地域社会に及ぼす悪影響を重大視し、あくまで統廃合しないで小規模校の良さを活かそうとする取り組みである兵庫県香美町の実践例について学ぶ。</p> <p>【予習の内容及び方法】 教科書の香美町の実践例について述べている部分を読み、疑問点などを整理しておく。(30分)</p> <p>【復習の内容や方法】 教科書及び配布された資料等を集めて見直し、本時に学んだ内容を改めて整理する。(30分)</p>	
14	1/10	<p>【テーマ】児童生徒数の減少が進む地域における教育環境整備の在り方③ 少子化に伴う学校小規模化への対応策の1つである「学校統廃合」を選択せず他の方法によって解決を目指す事例について学ぶーその2ー</p> <p>【授業の内容】 教科書によりながら、統廃合が地域社会に及ぼす悪影響を重大視し、あくまで統廃合しないで小中一貫教育やコミュニティ・スクール、ICTの活用などによる取り組みにより小規模校を維持しようとする熊本県高森町や長崎県五島市による実践例について学ぶ。(30分)</p> <p>【予習の内容及び方法】 教科書の高森町や長崎県五島市(奈留地区)の実践例について述べている部分を読み、疑問点などを整理しておく。</p> <p>【復習の内容や方法】 教科書及び配布された資料等を改めて見直し、本時に学んだ内容を改めて整理する(30分)</p>	
15	1/17	<p>【テーマ】まとめ・考査</p> <p>【考査の内容】 考査の内容については、「学校小規模化に伴う問題点とその解決策」二終点を絞って出題する。 なお、考査の内容については皆さんが十分な事前準備ができるよう、詳細な予告を行う。</p>	
期末試験			

使用テキスト	高橋興著「少子化に対応した学校教育充実の処方箋」(ぎょうせい 2018年9月)
--------	---

参考文献 参考URL	授業の進行に合わせ、随時紹介する。
備考	